



市議会ホームページ
QRコード

新しい議会がスタートしました

市議会議員選挙後初の議会となる第1回臨時会を5月22日に開催し、正副議長、各委員会委員など議会の構成を決定するとともに、議員提出議案1件、委員会提出議案2件、市長提出議案4件を議決しました(7・8頁参照)。

また、第2回定例会を6月8日から30日までの23日間の会期で開催し、市長提出議案10件を可決しました。



市議会の議場風景

平成27年度一般会計補正予算(第2号)を賛成多数で可決

平成27年度一般会計補正予算(第2号)は、補正予算審査特別委員会(田中政義委員長、木村徳副委員長)を設置の上、同委員会に付託し、審査を行いました。

補正予算の内容は、歳入歳出予算の総額405億2,312万6千円に歳入歳出それぞれ1億5,543万2千円を追加し、歳入歳出予算の総額を406億7,855万8千円とし、債務負担行為を2件追加、1件変更するというものです。

委員会での主な質疑

委員会では、新たな広域連携促進事業支援業務委託料について「なぜ事業概要に介護保険施設等の共同利用を通じた広域的な老人福祉サービスの提供が入っていないのか」「なぜ小平市が検討すべき内容を国分寺市が予算化するのか」「小平市と建築基準行政を連携して行うのは、広域行政として東京都が行っていた特定行政庁を国分寺市が単独で行うようにした過去の経緯に反するのではないか」「連携を模索するのなら、小平市だけでなく隣接する市と公平に進めてほしい」、中高層集合住宅の防災対策の普及・促進に関する基礎的調査・研究事業委託料では「年度当初から予定の提案型協働事業なのになぜ当初予算で計上しなかったのか」、個人番号カード交付予約システムとコールセンター業務委託では「個人情報に係ることなので厳格な運用を求める」「DV等被害者の安全を

確保するため、通知に手違いなどないようにしてほしい」といった質疑・要望がありました。

新町三丁目にある『ひばり児童遊園』の閉鎖に伴う経費について「同遊園は住民からの存続、公有化の要望があり、次世代に引き継ぐべき樹林地として残すべきである」「公園用地の一部が隣接する住宅用地の一部として使われている。公園は適切に維持管理されているのか。市が貸与されている土地は固定資産を減免しているが、公共の用に供されていない部分には課税すべきではないか」といった質疑がありました。その他、私立幼稚園就園奨励費補助金では「新たに対象となった施設の保護者への周知を徹底してほしい」、体育施設の維持管理では「市民室内プールは、将来の清掃施設の停止に伴う展望を持つ必要がある」といった質疑がありました。

委員会および本会議での討論

採決にあたっては「ひばり児童遊園は豊かな自然が残り防災上も重要な場所。緑を残し市民の憩いの場として公有化する努力をしない予算には反対する」「公園敷地の一部が公園として共用されていないのは貸していただいている土地所有者に対し申し訳ない。市としてこれ以上の貸借をお願いできる立場ではないことを理解し賛成する」との討論があり、本会議でも委員会と同様の討論に加え「私立幼稚園就園奨励費補助金は、議会での陳情採択を受け、速やかに対応したことは評価でき賛成する」「国分寺市の西側地区には大きな公園、緑地がない。それを補う意味からのひばり児童遊園の公有化が検

討されていないことから反対する」といった討論がありました。採決の結果は委員会・本会議とも賛成多数で可決しました。

国分寺市家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例を賛成多数で可決

国分寺市家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例は、文教子ども委員会に付託し、審査を行いました。

改正の内容は、小規模保育所及び事業所内保育所の保育士数の算定にあたり、今までは1人に限り保育士とみなすことができるとされていた「保健師または看護師」に「准看護師」も加えるというものです。

委員会では、「市として今後は小規模保育等の推進を検討していくのか」「国の通知では准看護師への研修の受講を勧奨しているので受講を促してほしい」「研修は都が作ったカリキュラムで市が実施するのか」「今後も認可保育所の整備により待機児解消を図ってほしい」といった質疑、要望がありました。

採決にあたっては「認可保育所での保健師等の役割を見るととても重要。小規模保育所等で保健師等が保育士とみなされ配置されると、その力量が十分に発揮できないのではないかと。市の判断で国から示された以上の基準を実現することを望み、本案には反対する」との討論があり、本会議でも委員会と同様の討論がありました。採決の結果は委員会・本会議とも賛成多数で可決しました。

議長 須崎 宏

この度、議員各位のご推挙により、議長に就任致しました。誠に身に余る光栄に存じますとともにもとより微力ではございますが、円滑な議会運営に努め、その使命達成と、より開かれた議会となるよう、最善の努力を尽くす決意であります。

地方の財政状況は、税収が伸び悩み安定した歳入確保が難しく、また地方分権により地方自治体自らが独自の発想で特色ある地域づくり、子どもの健全育成や少子化対策、高齢者などへの医療や福祉の対応策に取組んでいく姿勢が求められています。

市議会と致しましては、市民の皆様の声が十分反映できるよう執行機関と活発な議論や提案を行い、その責務を果たしてまいり所存です。

行政と市民が力を合わせ、心が通い合う地域社会を築くために誠心誠意努力してまいります。市民の皆様には市議会への一層のご理解とご協力をお願い申し上げます、就任の挨拶とさせていただきます。



就任にあたって

副議長 木島 たかし

この度、議会の選出により、副議長の大任を拝しました。重責に身の引き締まる思いです。

須崎議長を補佐し、公正・公平な議会運営に若輩ではございますが全力を尽くしてまいります。さて、市においては依然として厳しい財政状況の中、山積する諸課題の解決に向けた市政経営が求められています。

そうした中であって、住民福祉の向上のため、市発展のために議会の果たす役割と責任は一層重要となっています。

議会は市民の負託に応えるために、真摯な議論・討議を通じた、監視機能と議決機関としての責任を果たすとともに、政策立案のさらなる向上に努めてまいります。

また、時代の変化に柔軟に対応し、市民の皆様が一層信頼される議会改革を議員各位とともに進めてまいり所存です。

市民の皆様のご理解とご協力を心よりお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

